

## 南港桜第10代の校長よりラストメッセージ

大人（保護者、地域、教職員）のみなさまへ

2年前のこの季節、既に開花した桜の花を見上げながら、南港桜の正門をくぐった自分を思い出します。

校長として2校目の居場所、この居場所を「すべての子どもにとって安心できる居場所にする」ことを使命と感じ、「学校目標」に掲げてスタートしたことが、本当に昨日のようです。

この度の人事異動で、生野区の東小路小学校に転勤となりました。

まさに青天の霹靂とはこのことか！と正直驚きでした！公務員であり、雇われの身ですので人事異動は当たり前！しかし、まだ2年であり、しかも今年度は40周年プロジェクトの1年であり、道半ばのまさかの異動命令に戸惑いは隠せませんでした。

南港桜在職中は、保護者、地域、教職員のみなさまには多大なるご支援とご協力をいただきましたこと感謝の気持ちでいっぱいです。

「学校はあるんじゃない！つくるんだ！」とか

「学校は地域のもの！だから遠慮なく来て！」とか

「子どもは地域の宝！だからいっしょに育てて！」など、

赴任当初から言い続けてきました。そんな時、教職員から、

「もっと段取りや、いい意味の根回しがいるんじゃないですか！」とか

「1人で突っ走らない方が！」とか

「みんなで話し合う場を大事に！」など。

具申され、自分の甘さや浅はかさを痛感しました。また、NSO（PTA）のみなさんから、

「先生！物事には順序が」とか

「急には無理ですよ」とか

「慌てないで」など

声を届けていただき、自分自身を振り返る機会を何度もいただきました。

本当に周りのみなさんに支えられ続けた毎日でした。

2年間、本当に自分の好きなことを、したいことを、好きなように、したいようにさせていただきました。そうできたのも、保護者、地域のみなさん、そして教職員のみなさんのご理解とご協力があり、支えがあったからです。「感謝」の言葉しかありません。次の学校でも、みんなが安心できる居場所づくりをしていきます！

「本当にありがとうございました。」

「お元気で！さようなら！」

市場 達朗

なんこうさくら こども  
南港桜の子どもたちへ！

南港桜の子どもたちから学んだこと、それは、素直でいること！明るくいること！正直でいること！でした。いつも子どもたちの笑顔と元気に救われていました。朝の正門でのタッチひとつとっても、一人ひとり違って、その子らしさを感じるひとコマでした。月曜の集会では、私の話を真剣な眼差しで聴き、自分の考えを声や表情で返してくれ、とても楽しい時間でした。校長室を訪れる様子から、その子の今を感じることができ、校長ではなく、1人の大人として、人として、子どもの声に寄り添い、その子のことを少しでも知ることができたことが、とても嬉しかったです。校長室に届けてくれたみんなの絵は私の宝物です。

みなさん！

「学校はあるものじゃなく、つくるもの！」です。自分が通う学校をどんな学校にしたいですか？いえ、しますか？人任せにははいけません！「自分で考えて、自分から動く」んです！間違ってもいいじゃないですか！その時はやり直せばいいんです！「失敗を恐れず、チャレンジ」し続けてください！そして、最も大事にすることは「自分も人も大切にすること」です！人は1人で生きていけません！いろいろな人に支えられて、励まされて生きています！私もどれだけの人たちに助けられてきたことか！だからこそ、まわりの友だちやなかま、家族を大切にしてください！そして、1番大切にするのは自分です！自分を大切にできないのに人を大切にできません！自分のことを大好きになってください！みなさんがこの世に生まれたのは奇跡ですから！その与えられた命を大切に、自分を好きになって、自分のしたいことを思う存分できる環境を自分からつくりに行くんです！難しい言葉で言い換えると「自己決定力」をつけるんです！

さあ！明日からは新しい365日が始まります！ワクワク！ドキドキしてますか？大丈夫ですよ！みなさんの周りにはたくさんの大人が見守っています！困ったら、迷ったら、いつでも相談にいきましょう！

これからも「3つの風船」を「自分から自分らしく」大きく膨らませてくださいね！  
みなさんの笑顔と元気に感謝です！  
「さようなら」

グレープフルーツと牛タンが大好きな  
市場達朗